

平成 2 7 年 度

事 業 報 告 書

平成 27 年度 事業報告書

1. 大型民間輸送機関連技術開発事業

平成 26 年度に引き続き、平成 27 年度も大型民間輸送機（777X）開発事業の試験用試作物製作として、大型民間輸送機の軽量化、低コスト化及び省エネルギー化を実現する候補技術について米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成 27 年度は技術開発実施計画に基づき、試験用供試体及び関連する補助用具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて各種試験等を実施しました。

2. 大型民間輸送機（777X）開発事業

平成 26 年度に引き続き、平成 27 年度も大型民間輸送機（777X）の共同開発事業として、機体の計画設計、試験用供試体及び関連する治工具等の設計・製作に関する作業を実施しました。

3. 中小型民間輸送機関連技術開発事業

（1）発電システム

平成 26 年度に引き続き、平成 27 年度も中小型民間輸送機の電動化に対応する発電システムについて米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成 27 年度は技術開発実施計画に基づき、基本性能及び技術実証試験用供試体及び関連する補助用具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて要素試験を実施しました。

（2）電源安定化システム

平成 26 年度に引き続き、平成 27 年度も中小型民間輸送機の電動化による電力変動を効率的に解決するシステムについて米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成 27 年度は技術開発実施計画に基づき試験用供試体及び関連する補助用具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて要素試験を実施しました。

(3) 高揚力システム

平成26年度に引き続き、平成27年度も中小型民間輸送機の電動化に対応した低電力・小型・高効率アクチュエーションシステムについて米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成27年度は技術開発実施計画に基づき試験用供試体及び関連する補助用具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて要素試験を実施しました。

4. 民間航空機の市場に関する調査研究事業

(1) 市場調査

世界の航空輸送や航空機産業に関する民間航空機市場全体にわたる関連データの調査・分析と世界のエアライン調査を実施し、それらの結果を基に民間航空機全体の需要動向予測を実施しました。その結果を冊子にまとめ、関係各団体に配布し、ホームページに掲載しました。

(2) 将来民間輸送機

777Xに続く将来民間輸送機の開発に向け、その構想検討及び関連調査研究の実施、並びに海外OEMとの情報交換等を実施するものです。平成27年度は、国外の航空機開発及び航空機システム開発に関する動向調査、並びに米国ボーイング社等との情報交換を実施しました。

協会運営に係わる事項

1. 理事会

理事会を3回（平成27年6月10日、平成27年6月23日及び平成28年3月8日）開催し、協会業務の重要事項の決議及び報告を行いました。

2. 評議員会

評議員会を2回（平成27年6月23日及び平成28年3月23日）開催し、協会業務の重要事項の決議及び報告を行いました。

3. 登記

平成27年6月23日を就任日として辞任に伴い改選された理事及び任期満了に伴い改選された会計監査人、及び平成27年8月1日を就任日として辞任に伴い改選された監事の登記を行いました。

4. 公益目的支出計画実施報告書等

公益目的支出計画実施報告書等を平成27年6月30日に内閣府に提出しました。

5. 定款一部変更

平成27年6月23日付で定款を一部変更しました。

6. 職員の状況

期首及び期末の实在人員は次の通りです。（注）役員は含まない。

所 属	平成27年4月1日現在	所 属	平成28年3月31日現在
管理室	--	管理室	--
・総務部	6	・総務部	6
・経理部	3	・経理部	3
小計	9	小計	9
第一企画室	6	第一企画室	5
第二企画室	7	第二企画室	7
合 計	22	合 計	21

附属明細書

平成27年度事業報告書には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。